

令和元年 第3回 錦江町議会定例会議事日程

開会の日時

令和元年9月10日（火）午前10時開議

開会の場所

錦江町議会議場

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

- 1) 事務報告
- 2) 監査報告
- 3) 健全化判断比率・資金不足比率の報告
- 4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告

日程第4 行政報告

- 1) 町長行政一般の事務報告

日程第5 発議第1号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について
(議 員 提 出)

日程第6 議案第50号 令和元年度錦江町一般会計補正予算（第2号）について
(町 長 提 出)

日程第7 議案第51号 令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算
（第1号）について
(同 上)

日程第8 議案第52号 令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計
補正予算（第1号）について
(同 上)

日程第9 議案第53号 令和元年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算
（第1号）について
(同 上)

日程第10 議案第54号 錦江町税条例の一部を改正する条例について
(同 上)

- 日程第 11 諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について
(町 長 提 出)
- 日程第 12 認定第 1 号 平成 30 年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第 13 認定第 2 号 平成 30 年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出
決算の認定について
(同 上)
- 日程第 14 認定第 3 号 平成 30 年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入
歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第 15 認定第 4 号 平成 30 年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別
会計歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第 16 認定第 5 号 平成 30 年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）
特別会計歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第 17 認定第 6 号 平成 30 年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
の認定について
(同 上)
- 日程第 18 認定第 7 号 平成 30 年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出
決算の認定について
(同 上)

(日程第 12 認定第 1 号から日程第 18 認定第 7 号まで一括上程、提案理由の
説明、総括質疑のあと決算審査特別委員会を設置のうえ付託)

令和元年 第3回錦江町議会定例会 会議録

召 集 の 年 月 日 令 和 元 年 9 月 1 0 日
 召 集 の 場 所 錦 江 町 議 会 議 場

応 招 （ 出 席 ） 議 員	1 番	厚 ケ 瀬 博 文	
	2 番	浪 瀬 亮 祐	
	3 番	染 川 金 治	
	5 番	池 迫 重 利	
	6 番	池 田 行 徳	
	7 番	川 越 裕 子	
	8 番	笹 原 政 夫	
	9 番	小 吉 昭 弘	
	1 0 番	中 野 徳 義	
	1 2 番	馬 込 守	
	1 3 番	水 口 孝 俊	
不 応 招 （ 欠 席 ） 議 員			

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	木 場 一 昭		
副 町 長	三 反 田 み ど り		
教 育 長	畑 中 清 和		
総 務 課 長	安 田 憲 次	住 民 生 活 課 長	舞 原 利 博
政 策 企 画 課 長	新 田 敏 郎	観 光 交 流 課 長	中 島 裕 二
未 来 づ く り 課 長	高 崎 満 広	産 業 建 設 課 長	田 中 弘 朗
保 健 福 祉 課 長	池 之 上 和 隆	農 業 委 員 会 事 務 局 長	窪 和 人
会 計 課 長	城 下 香 代 子	教 育 課 長	大 寺 和 久
建 設 課 長	久 保 清 隆	総 務 チーム リーダー	坪 内 裕 二 郎
産 業 振 興 課 長	今 熊 武 朗	財 政 管 財 係 長	山 王 洋 介
住 民 税 務 課 長	鶴 園 建 郎		
職務のため出席した者			
議 会 事 務 局 長	冨 尾 俊 一		

令和元年 第3回 錦江町議会定例会会議録

令和元年9月10日（金）午前10時00分

錦江町議会議場

（開 会・開 議）

水口議長

ただ今から、令和元年第3回 錦江町議会 定例会を開会します。
これから、本日の会議を開きます。

（日 程 報 告）

本日の議事日程は、あらかじめ配布致しましたので、ご了承願います。

日程第1 会議録署名議員の指名

水口議長

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、9番 小吉君、10番 中野君を指名します。

日程第2 会期の決定

水口議長

日程第2「会期決定の件」を議題にします。お諮りします。
本定例会の会期は、本日から9月27日までの18日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。したがって、会期は、本日から9月27日までの18日間に決定しました。

日程第3 諸般の報告

水口議長

日程第3「諸般の報告」を行います。
閉会中における事務の概要は、お手元に配りました報告書のとおりであります。
次に、監査委員から、令和元年6月11日、7月10日、8月9日実施の

例月出納検査結果報告書が提出されましたので、写しをお手元に配ってあります。ご了承願います。

次に、町長から、平成30年度健全化判断比率・資金不足比率の報告書が、提出されましたので、お手元に配ってあります。ご了承願います。

次に、教育長から、令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書が提出されましたので、写しをお手元に配ってあります。ご了承願います。これで、諸般の報告を終わります。

日程第4 行政報告

水口議長

日程第4、行政報告を行ないます。町長から行政報告の申し出がありました。これを許します。木場町長。

木場町長

はい。

[木場町長、登壇]

木場町長

皆さんおはようございます。

6月議会以降の行政報告を申し上げます。会議等の参加状況につきましては、別紙の報告のとおりでございます。

6月15日、本町出身の三遊亭圓歌師匠の襲名披露宴がホテル城山であり、出席いたしました。本町といたしましても、三遊亭圓歌師匠の襲名披露を兼ねた講演を、来年2月ごろ文化センターで計画したいと考えているところであります。

7月25日、元大隅振興局長、また元県観光連盟専務理事をされておられました白橋さんらをお招きして、照葉樹の森有識者会議を行いました。照葉樹の森をもっと有効に活用するため、種々の提案をいただいたところでございます。これからはもっと錦江町の有効な地域資源として照葉樹の森の利活用を検討していきたいと考えております。

8月6日、錦江町サツマイモ振興会設立総会が開催されました。これまで青果用・でんぷん用・焼酎用それぞれで団体が組織されておりましたけれども、今回統一して錦江町さつまいも振興会が設立されたところでございます。50名を超える会員の方々が参加され、つる割病などの対策に一丸となって取り組んでいかれるということでございます。

8月24日には大隅縦貫道整備促進決起大会が本町文化センターで開催され、森山裕衆議院議員を初め三反園県知事、国土交通省九州整備局長、近隣市町村長など、530名を超える参加者がありました。令和3年度本格着工に向けて、大きな成果が得られたのではないかと感じたところでござい

ます。

また、9月1日には「南隅地域の医療介護シンポジウム」を開催し、250名の参加がありました。医師会立病院の移設・建て替えなどを前提にした南隅地域の将来の医療介護のあり方について大きな示唆を受けたのではないかと感じました。今後、具体的な検討案を作成して協議を進めてまいりたいと考えております。

9月8日、第54回都道府県対抗自転車競技大会、27都道府県の参加により開催されました。トラック競技で落車の事故はあったものの、大きな事故には至らず、そしてまた日曜日に行われたロードレースにおきましても大会が無事終了できました。来年の本国体に向けて、とても有意義な大会であったと思います。来年に向けて、町をあげて選手・役員を迎え入れる態勢を強化してまいりたいと思います。

9月4日に開催されました県茶品評会において、昨年引き続き、深蒸し煎茶の部で産地賞を受賞いたしました。茶価格が低迷する中、この受賞を機にさらに販売戦略を打ち立ててまいりたいと思います。以上をもちまして、行政報告といたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これで、行政報告は終わりました。

日程第5 発議第1号

水口議長

日程第5 発議第1号「新たな過疎対策法の制定に関する意見書について」を議題とします。

本件について、提出者の趣旨説明を求めます。 6番、池田君。

[6番池田議員、登壇]

6番池田議員

改めまして、おはようございます。

発議第1号「新たな過疎対策法の制定に関する意見書について」、趣旨説明を申し上げます。

過疎対策につきましては、昭和45年の「過疎地域対策緊急措置法」制定以来4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における産業振興、生活環境の整備など一定の成果を上げてまいりました。

しかしながら、現行の過疎地域自立促進特別措置法の期限切れを令和3年3月末に控え、引続く人口減少と著しい高齢化に直面し、財政状況も厳し

い中、路線バスなどの公共交通機関の廃止、医師・看護師等の不足、担い手不足や働く場の確保、集落の存続・活性化など解決すべき多くの課題が残されており、持続可能な社会の実現に向け、地域内の資源や人材を活用した「個性を生かした内発的发展」と過疎地域の条件不利性を克服するための「格差是正」を推進する施策は、今後さらに必要と考えます。

そのためには、引き続き総合的な過疎対策を充実強化するための、新たな過疎対策法の制定が必要であると考えておりますので、この意見書への皆様方のご賛同をお願いし、趣旨説明を終わります。

[6 番池田議員、降壇]

水口議長

これから、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

討論なしと認めます。これから、発議第1号「新たな過疎対策法の制定に関する意見書について」を採決します。

お諮りします。 発議第1号は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。

したがって、発議第1号「新たな過疎対策法の制定に関する意見書について」は、原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第50号

水口議長

日程第6 議案第50号「令和元年度錦江町一般会計補正予算（第2号）について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。 木場町長。

〔木場町長、登壇〕

木場町長

議案第50号 令和元年度錦江町一般会計補正予算（第2号）について、説明を申し上げます。

令和元年度錦江町一般会計補正予算（第2号）については、補正総額2億4,262万円5千円の増額で、累計で72億5,740万6千円となりました。

今回の補正は、歳出につきましては、肝属郡広域交通ネットワークに関するMaaS（マース）協議会負担金500万円、再生可能エネルギー導入マスタープラン策定業務委託料2,000万円、総合運動公園施設バリアフリー整備700万円、財政調整基金元金積立4,063万6千円及び町有施設整備基金元金積立1億2,717万8千円等が主なものであり、その他事業執行に伴う過不足の調整を行いました。

歳入につきましては、普通交付税の決定に伴う増額1億3,682万5千円、前年度繰越金6,127万円、再生可能エネルギー導入マスタープラン策定業務に充当する地域経済循環創造交付金2,000万円、子ども・子育てに係る地方特例交付金952万円、子どものための教育・保育給付費835万3千円等が主なものであります。

議決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから、質疑を行います。

第1表歳入歳出予算補正の歳入9款「地方特例交付金」から21款「町債」までと、歳出2款「総務費」から11款「災害復旧費」及び第2表「地方債補正」を一括して、質疑を行います。質疑ありませんか。

7 番川越議員

はい。

水口議長

はい、7 番川越君。

7 番川越議員

はい。14ページの民生費ですが、児童福祉施設費の中で遊具の撤去の業務委託が22万ほど組んでいます。

これは馬場地区の松崎子供公園にある遊具と思いますが、バスケットとそれから滑り台をセットとした遊具があるのですが、これは両方とも撤去なさるのか。また撤去なさる理由というのはどういうことであるのかということを1点。

それから15ページの過疎地域等の自立活性化推進事業、1,000万円の事業ですが、612の13「委託料」の中に、1号補正で先ほどの説明を受けましたものは産業動向の分析の委託が200万、PRの画像制作が3

	<p>30万、それから食交流は140万それと、加工センターの備品等が274万ある。後は事務費ということで約1,000万の説明を受けております。</p> <p>今回食イベントが50万減になっていて90万でオーケーなのか。その次に記載されています食交流イベントの設営の委託料というのが、マルシェとの関連なのかどうなのか、ということを伺います。</p> <p>それと産業動向分析調査についてはもう既にいろんな地域を回りながら、実施がなされていると思いますが、その進行状況が順調なのかどうかということと、それからやまんなかマルシェは11月24日に黒岩シェフと加工グループが地域産の新しい商品を開発するということで、11月24日には試作の販売もされるようになっておりますが、こういった新商品の開発の進展はどうなのかということです。</p> <p>それともう1点は、加工用の真空包装器、それと業務用の冷凍庫というのが非常に特殊なものではありますが、入札をされたのか、入札価格はどうかだったのか、落札先はどうだったのかということで、お伺いをしたいと思います。</p>
水口議長	はい、木場町長。
木場町長	<p>遊具関係については保健福祉課長。</p> <p>それから農業総務費については、それぞれ担当課の課長に答弁させます。</p>
水口議長	はい、保健福祉課長。
池之上保健福祉課長	<p>民生費の児童福祉施設費の遊具撤去業務委託につきましては、川越議員ご指摘のとおり、松崎公園の遊具の撤去の分でございます。</p> <p>滑り台の方の撤去を予定しておりまして、毎年度、遊具の点検を業者に委託しているわけなのですが、根元の腐食が著しくこのまま使い続けると非常に危ないという報告がございました。補修についても検討いたしましたが、非常に高額なものですからここは補修をしないように撤去することが優先だろうと判断しまして計上いたしております。以上です。</p>
水口議長	はい、産業建設課長。
田中産業建設課長	<p>御質問にお答えいたします。</p> <p>ただ今行っております食交流イベントの関係でございますが、まず備品購入費ですが、備品購入費の冷凍庫と真空パッキンにつきましては既に入札が終わりまして、昨日業者の方が据え付けにまいったところでございます。</p>

金額にしましては今回54万円の補正減を行っておりまして、217万円程度で入札されたということでございまして、今回は54万円の方を補正減させていただいたところでございます。

また他の方のイベントの委託料につきましては、先ほど川越議員がおっしゃいましたとおり、当初6月補正の方では食交流イベント委託料を140万円組んでおりましたが、その後食交流イベントのシェフ等との話し合いを持ちまして、その中でうちの方でまず90万円の方で契約をするということで協議をなされております。

また残りの金額につきましては、3万円のものが入ってまいりますので、そちらの方を使いまして、3万円への方で対応していくということで打ち合わせが済んでいるところです。

また今回の食交流イベントの設営の委託料が出てまいっておりますが、これにつきましては、河川敷の石畳の方を会場として使うようになっておりますので、そこに舞台を設けまして、フラットな状態でお客様をお迎えするというようなことで、ちゃんとした台を設けて安全を確保した上で、お客様に来ていただくというふうに考えまして、今回補正の方で上げさせていただいたところでございます。

また、現在食交流イベントの申し込みにつきましては12名の方が、県内・県外、遠いところは大阪、京都あたりからも申し込みがきておりますので、今後まだ増えてくるのではないかなというふうに考えているところでございます。以上です。

水口議長

はい、政策企画課長。

新田政策企画課長

それでは産業動向分析調査について進捗状況を示せということでございますので、状況をご報告いたします。

まずこの地域につきましては大原地区と花瀬地区、この二つの地区で既に2回のワークショップを終了しました。そこで地域資源であったり、将来この地域としてどういったことをやっていきたいか、というところを顕在化させておりまして、9月末に3回目の今後の事業計画を含めたワークショップをやる予定でございます。

中でも大原地区につきましては、これまでの長年地域で培ってきた「紅葉」というキーワードを切り口としてこれにもう少しストーリー性を付けて産業振興に繋げていきたいというようなことで現在構想を練っているところです。

契約につきましては、総合振興計画の契約相手方でありまして、まちづくり研究所をここに別途契約をして実施しているところでございます。以上です。

水口議長	はい、産業建設課長。
田中産業建設課長	<p>まず冷凍庫と真空パックの業者さんですが、ここにつきましてはホシザキ南九さんが落札を。鹿屋市役所の反対側にある、あそこの会社の方が落札をされております。</p> <p>また花瀬マルシェにつきましては、現在イノシシを使ったハンバーガーの方を特産品として今提供しようということで考えておりまして、今それに向けまして試食等を重ねているところでございます。</p>
水口議長	はい、7番川越君。
7番川越議員	<p>食交流の分については、あらかた分かりましたが。</p> <p>私、この子供公園のあり方について少し聞きたいのですが、今町内で子供公園というのは、大橋と堂之元とそれから松崎というような3カ所がございます。</p> <p>大橋の児童公園、あるいはその堂之元については、もう既に遊具が撤去されておまして、何もないというような感じです。松崎については、バスケットボールのポールと、今回撤去されるこの滑り台がセットになった部分の遊具があるだけでございます。</p> <p>平素どういうふうな使われ方をしているかという、もっぱら松崎の場合は、グラウンドゴルフの練習場あるいは馬場地区のイベント、そういったイベントの会場としてフルに使われているということです。</p> <p>遊具がないのに、子供公園と呼ぶのかどうかというのは非常に問題だと私は思っております。この辺については町長どんな考え方ですか。</p>
水口議長	はい、木場町長。
木場町長	<p>児童公園の設置に関するいろんな関係法令があろうかと思っております。</p> <p>子供が遊ばないのに児童公園というのも確かにどうかと思います。そこら辺の関係法令を調べた上で、引き続き「児童公園」というふうに位置づけをしていかないといけないのかそこら辺は再考させていただきたいと思っております。</p>
水口議長	はい、7番川越君。
7番川越議員	例えば児童公園として活用するのであれば、やっぱりそれなりの遊具というものがなければ子供たちも集まってはこないし、遊べる場所としては

非常に不適切だというふうに考えております。

そこで今回その滑り台をセットとした遊具を一旦撤去なさるのですが、それについても、また適正なものを設置していただけるのかなというような心配もあります。

あと2つ。前、堂之元については事故があったので、速やかに撤去がなされて、その後何も設置はなされておられません。そういった状況の中で子供たちが遊べる環境があるのかということを、お互いに考えていかなければならないのではないかなというようなことを考えましたので、今回提案をさせていただきました。

担当課長については次の遊具等の設置というのは速やかに考えられるものかどうか。

それと管理です。保守料といいますか、そういったものも絡んではくるのですけれども、どんなふうに考えていらっしゃるのかお聞きしたいと思います。

水口議長

はい、木場町長。

木場町長

先ほど答弁をしましたけれども、児童公園というのをどうしてもあそこで引き続きしないといけないのか。するのであれば遊具も何もないというのはおかしいなというふうに考えます。

そこら辺も含めて、ちょっと時間をいただければと思います。

担当課あるいは子育てをしている保護者の方々、いろんな方々の意見を聞きながら判断をしていきたいと思います。

水口議長

はい、他に質疑ありませんか。

2 番浪瀬議員

はい。

水口議長

はい、2 番浪瀬君。

2 番浪瀬議員

18 ページと19 ページの、教育費についてお尋ねをいたします。

学校建物管理費の田代小学校の公営設計委託の工事の内容とそれから、総合運動公園バリアフリー事業のトイレ改修の件でございます。

1 号補正で6 月に出されまして、そのときに県の補助金・地方債を借りてということで説明があったわけですが、ここで委託料を300 万払っているわけですが、今回単独槽そのもののつもりが、合併浄化槽に変えないといけないということなのですが、一般財源で700 万持つてくるということだろうと思います。

さっきも言いましたように、設計委託を頼んでいたわけですので、ここで分かったのではないかなと。当たり前に設計をされれば分かったのではないかなと思うのですよ。

ということは、ここで合併処理槽にしなければいけないということになれば、県の補助金ももちろん上乘せがあって、地方債も借りられたと。一般財源 700 万を丸々出す必要性がなかったのではないかなと思うのですが、その辺を含めてどこへどういう委託をされたのか。

この委託が単独槽ではだめだから、こちらにしないといけないというのは判断しないといけないと思うのですよ。行政側が分かるということではなくて、だから委託をするわけですから。その辺は委託業者とどういうやりとりをされたのか、2 点お聞きしたいと思います。

水口議長

はい、木場町長。

木場町長

今の 2 点につきましては、教育課長の方に詳細を答弁させます。

水口議長

はい、教育課長

大寺教育課長

浪瀬議員の御指摘のとおり、6 月の補正の中でこのトイレ改修につきましてはお願いしまして補正を組んだところでございます。6 月に県の内示がありまして、採択においては大変難しい事業ではありましたが、このトイレにつきましてはですね。幸いに 6 月で内示がきたということで、本格的にスタートしたのが 6 月でございました。

この事業につきましても、県の補助率も有利な事業でございまして、他の自治体も大変有効に使っているということですのでけれども、1 億円の枠があるのですが、この枠内に相当の事業があって、本町の場合も当初の段階でありました。事業の増額もお願いしたところでしたけれども、枠を超えているということで、「増額は認められませんよ。」という中で進めてまいったところでございました。

6 月に、その時点で予算枠を上げられないということでございましたが、それ内に収まるであろう、その時には合併浄化槽ではなくて単独槽の 50 人槽が今入っているわけですのでけれども、この 50 人槽につきましても、点検等を行っている段階でも正常に機能をしている、町内の建築士の方に聞いても、「この浄化槽で大丈夫ですよ。」というお墨付き的なものもございましたので、当初から浄化槽はもう扱わないで、上の部分だけを工事するという事で、改築という解釈の下で進めてまいったことでございました。

改築の場合は平成 27 年度にも神川大滝公園内のトイレにつきましても単独槽をそのまま使いまして、上の方だけを、トイレ部分の建屋の部分だけ

を改築したという例もあったものですから、その工事内で出来ると判断しまして、上の部分だけ工事の中に組み込んだところでしたけれども、よくよく調べてみますと今回の総合公園内が都市計画内に入っているということが発覚しまして、都市計画内におきましてはこの部分につきましても、改築であっても、合併浄化槽を使わなければいけないということが8月の時点で分かりまして、今回のお願いをしたところでございました。

選択肢の中で今回、そういう今言われるように、町費700万という全額を使わなければいけないということになりますので、選択肢の中で今回は無理で、来年度もう1回申請し直そうかという検討もいたしまして、県の方にもそれなりの相談もしたところでしたけれども、先ほど来言いますトイレに関しましては広域的に使われるものがこの地域推進交付金事業ということで、本町の公園内に設置するトイレでございますので広域性にかけるよねということで、「来年度またこれを採択するということは約束できません。」という県の返答がございまして、やむなく今いただいている範囲内の補助金を使って今回実施するというのもお願いをいたすところでございます。経緯としましてはそういうことです。

あとは、設計書に関しましては、7月に入札を行ないまして、鹿屋市のJUN設計所という所に業務委託をしまして、8月から本格的な実施設計書の作成に入っていただいたところでございます。その設計書を頼んだ段階でそういったことが色んな手続き的なもので、今回の合併浄化槽が必要になりますよということが分かったということで、今回に至ったところでございます。

〔「小学校は。」と呼ぶ者あり〕

大寺教育課長

小学校につきましては、エレベーターの設計でございます。と言いますのも、現在田代幼稚園に通っている子どもが再来年小学校に上がるわけですが、その家族から田代小学校の方に入学したいと。その子が筋萎縮症という難病を患っておりまして、全体の筋肉が動かない。しかし、知能というところは一般の子どもと変わらないということで、ご家族の方につきましては普通の小学校に入学させたい、家の近くの田代小学校の方に入学させたいという希望がありまして、昨年度から相談を受けているわけですが、そういう検討の中で、最終的には来年の令和2年11月頃に入学の判定委員会があるわけですが、そこで決まるわけですが、現時点でその子を受け入れるとなった場合は、教室が2階の部分がございまして、2階に上がる場合の整備としまして、エレベーターを設置する、そのための設計書です。

エレベーターの設置につきましては、国の補助等がありまして、3分の1

の補助がございますので、今後そのままエレベーター設置ということになれば今回の実施設計書の170万をお願いしておりますけれども、設計書ができた段階で国の方には申請をしてほしいということになるというふうに致しております。

水口議長

はい、2番浪瀬君。

2番浪瀬議員

今、言われるように2階に部屋があるから、親御さんも田代小学校に入りたいという希望があるわけですが、それはそれで良いのではないかなと思うのですが。6年通うということですが、エレベーターが1番最善の方法だろうと判断されたと思うのですが。

その時、エレベーターはいいとして、各部屋の入り口ですよね。あそこが、私が思うのに、そこばかりではなくて、やっぱり幼稚園もやり替えた方が良いのではないかなと思うのですが、観音開きか何かにしないと車いすが入り切らないような気もするのですよ。その辺も含めてまた見に行って設計していただければと思うところです。

それからトイレの件ですが、使えると業者さんも判断されたものの、どこがどうだということもあれですが、

やはりこの前も中学校のエアコンの件もあったし、なかなか分からないところだろうけれども、都市計画に入っていたのだと言われましたけれども、やっぱりその辺は教育委員会ばかりではなくて、各課あらゆる面から見ていただいて、やっぱり予算を付けるようにしていただきたいと思います。要望です。

水口議長

他に質疑ありませんか。はい、3番染川君。

3番染川議員

先ほどこの大根占校区内の児童公園について同僚議員が質問して町長が答弁されたのですが、その中で児童公園の今後の位置付け・在り方というのも検討させてくれと言うのがあったのですが、3年以上前から堂之元公園の遊具を中心にどういうふうにするのか。本当に児童公園の在り方というのも早急に色々と検討をし、計画も立ててくれということも言っております。そういうことでもう、3年以上も全然検討されていなかったのかというふうにも考えられるわけですが、少子化で、子どもたちが少ない中で本町も色んな子育て支援等をされている。

しかし、児童公園というのは最低限その地域で1番安全な場所を設定してそしてそこで、子どもたちを安全で安心できるような形でいろいろと活動をさせる、そういう目的もあると思うのですが、これは検討の段階は過ぎていると思うのですが、早急に良い方向付けをしていただきたいと

いうふうに思っているところでございます。宜しくお願いします。

水口議長

はい、他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

討論なしと認めます。

これから、議案第50号「令和元年度錦江町一般会計補正予算（第2号）について」を採決します。

お諮りします。議案第50号は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。したがって、議案第50号「令和元年度錦江町一般会計補正予算（第2号）について」は、原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第51号

水口議長

日程第7 議案第51号「令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。 木場町長。

〔木場町長、登壇〕

木場町長

議案第51号 令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について、説明を申し上げます。

令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）については、補正額は、歳入歳出それぞれ22万を増額し、累計は、12億5,980万8千円となりました。

今回の補正は、歳出につきましては、総務費の一般管理費を、歳入につきましては、国庫支出金の制度関係業務準備事業費補助金をそれぞれ22万円増額いたしました。議決くださいますよう、よろしく願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから、質疑を行います。

第1表歳入歳出予算補正の歳入7款「国庫支出金」及び歳出1款「総務費」を一括して、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

質疑なしと認めます。これから討論を行ないます。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

討論なしと認めます。

これから、議案第51号「令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について」を採決します。

お諮りします。議案第51号は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。

したがって、議案第51号「令和元年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について」は、原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第52号

水口議長

日程第8 議案第52号「令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。 木場町長

[木場町長、登壇]

木場町長

議案第52号 令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について、説明を申し上げます。

令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）については、補正額は、歳入歳出それぞれ2,062万6千円を増額し、累計は、12億3,473万5千円となりました。

今回の補正は、平成30年度保険給付費及び地域支援事業費に対する国・県・支払基金及び一般会計からの負担金や補助金を精算し、それぞれ償還及び繰出すものであり、その財源として前年度繰越金を充てるものです。

議決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから、質疑を行います。

第1表歳入歳出予算補正の歳入4款「支払基金交付金」及び8款「繰越金」と、歳出1款「総務費」及び5款「諸支出金」を一括して、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

質疑なしと認めます。これから討論を行ないます。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

討論なしと認めます。

これから、議案第52号「令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について」を採決します。

お諮りします。議案第52号は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。

したがって、議案第52号「令和元年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）について」は、原案のとおり可決されました。

日程第9 議案第53号

水口議長

日程第9 議案第53号「令和元年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。 木場町長。

[木場町長、登壇]

木場町長

議案第５３号 令和元年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）について、説明を申し上げます。

令和元年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）については、補正額は、歳入歳出それぞれ９４万２千円を増額し、累計は、３，１９６万５千円となりました。

今回の補正の主なものは、歳入につきましては、事業収入の滞納繰越分と前年度繰越金であり、歳出につきましては、麓地区浄化センター等の修繕及びコンビニ収納手数料です。議決くださいますよう、よろしくお願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから、質疑を行います。

第１表歳入歳出予算補正の歳入１款「事業収入」及び６款「繰越金」と、歳出１款「総務費」を一括して、質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

質疑なしと認めます。これから討論を行ないます。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

討論なしと認めます。

これから、議案第５３号「令和元年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）について」を採決します。

お諮りします。議案第５３号は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。

したがって、議案第５３号「令和元年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）について」は、原案のとおり可決されました。

日程第１０ 議案第５４号

水口議長

日程第１０ 議案第５４号「錦江町税条例の一部を改正する条例につい

て」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。 木場町長。

[木場町長、登壇]

木場町長

議案第54号 錦江町税条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

令和元年度税制改正により、軽自動車税に環境性能割が創設されることから、日本赤十字社所有車両に対する軽自動車税環境性能割（町税）の非課税対象車両について、自動車税環境性能割（県税）の非課税対象車両との整合を図るため、本条例案を提案するものであります。

議決くださるよう、よろしくお願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから質疑を行ないます。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

質疑なしと認めます。これから討論を行ないます。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

討論なしと認めます。これから、議案第54号「錦江町税条例の一部を改正する条例について」を採決します。

お諮りします。議案第54号は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。したがって、議案第54号「錦江町税条例の一部を改正する条例について」は、原案のとおり可決されました。

日程第11 諮問第1号

水口議長

日程第11 諮問第1号「人権擁護委員候補者の推薦について」を議題とします。本件について、提案理由の説明を求めます。 木場町長。

[木場町長、登壇]

木場町長

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について、意見を求めることについてご説明いたします。

長濱正明委員が、令和元年12月31日で任期満了となりますことから、次期人権擁護委員の候補者として番園多志子氏を推薦したいため、議会の意見を求めるものです。同意くださいますよう、よろしくお願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから質疑を行ないます。質疑ありませんか。

はい、7番川越君。

7番川越議員

はい、本人をどうこう言うことではありませんが。

ただ人権擁護委員なり民生委員なりというようなものが非常に男女共同参画の普及によって女性方に偏っております。今回長濱氏が男性で、あと女性の方を推薦されるということではありますけれども、やはり男性は父親あるいは男性としての立場、あるいは女性は母親あるいは女性の立場というようなもので持つ特性もあるわけですが、この辺の男女のバランスについては何も考えていらっしゃいませんか。

水口議長

はい、木場町長。

木場町長

正直なところ、男女の比率というのは特に今回の場合は考慮しておりませんでした。

このような、人権擁護委員であったり民生委員であったりボランティア的な業務をされる委員の方を選出するのは最近非常に人選とか含めて難しい状況になってきておりますので、ご相談を申し上げて引き受けていただくということが、まず性別よりも優先するのかなというふうに考えております。直接、担当課長の意見も発表させますので、宜しくお願いします。

水口議長

はい、住民税務課長。

鶴園住民税務課長

今、川越議員の指摘のとおりでございますが、全体的に男性が多いということのできるだけ女性の方もという要請もありました。

それとまた、聞き手になるときにやっぱり男性よりも女性のほうが良いのかなと思ひまして、推薦したところでございます。以上です。

水口議長

はい、7 番川越君。

7 番川越議員

はい。なるほど女性だと受け答えが非常に優しいということでございました。前回、P T Aの代表の方を子供の人権というような形で承認をしたことがございます。そういったいろんな立場の人たちが出てきてくださるのが非常に本当は良いと私は思っておりますけれども、さっきも申し上げたとおり、男性は男性の立場、女性は女性の立場あるいは父親であったり母親であったりそういった立場の中で経験を生かしながらやっぱりこの対応ができるということになると、あながち女性だけに偏って良いということではなかったので、一応質問をさせていただいたところです。

それで結構です。

水口議長

他に質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

これで質疑を終わります。

ここで、諮問に対する答申の意見調整のため、しばらく休憩します。

議員の皆さんは、委員会室に集合願います。

〔委員会室にて全員協議会で、諮問に対する答申の意見調整〕

休 憩 10 : 54

再 開 11 : 05

水口議長

休憩を閉じて会議を再開致します。

諮問第1号の「人権擁護委員候補者の推薦について」は、お手元に配りました、意見のとおり答申したいと思います。

ご異議ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

水口議長

異議なしと認めます。

したがって、諮問第1号「人権擁護委員候補者の推薦について」は、お手元に配りました、意見のとおり答申することに決定しました。

日程第 12 認定第 1 号
日程第 13 認定第 2 号
日程第 14 認定第 3 号
日程第 15 認定第 4 号
日程第 16 認定第 5 号
日程第 17 認定第 6 号
日程第 18 認定第 7 号

日程第 12 認定第 1 号「平成 30 年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定について」

日程第 13 認定第 2 号「平成 30 年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第 14 認定第 3 号「平成 30 年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第 15 認定第 4 号「平成 30 年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第 16 認定第 5 号「平成 30 年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第 17 認定第 6 号「平成 30 年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第 18 認定第 7 号「平成 30 年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について」 7 議案を一括議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。 木場町長。

[木場町長、登壇]

木場町長

認定第 1 号から認定第 7 号までの提案理由について、ご説明いたします。

認定第 1 号から認定第 7 号までの、各会計の決算認定議案につきましては、議会の認定に付するためのすべての手続きが終わりましたので、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により、本会議に提案するものでございます。

まず、**認定第 1 号** 平成 30 年度錦江町一般会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額は 70 億 1,024 万円 1 千円、歳出総額は 69 億 1,135 万 3 千円となり、歳入で対前年度比は 3 億 4,616 万円 1 千円、5.2% の増、歳出で 3 億 5,558 万 6 千円、5.4% の増となりました。

一般会計の決算収支の状況をみますと、歳入歳出差引額は 9,888 万 8 千円で、翌年度へ繰り越すべき財源が 1,761 万 8 千円で、実質収支額は 8,127 万円となりました。前年度の実質収支を差し引いた単年度収支

は、2, 255万円の赤字、積立金への積立額及び取崩額を加えた実質単年度収支は、1億3, 395万8千円の赤字となりました。

認定第2号 平成30年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額1億1, 437万7千円、歳出総額1億8, 841万円となり、歳入歳出差引額は2, 596万7千円となりました。

国民健康保険事業の運営に当たりましては、保険税負担と国県からの交付金、補助金、負担金で医療費を賄う制度であり、これらに伴う歳入及び歳出となっています。

認定第3号 平成30年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額1億2, 797万円、歳出総額1億2, 657万1千円となり、歳入・歳出差引額1億39万9千円となりました。

後期高齢者医療制度の運営に当たりましては、広域連合と市町村は、運営に係る事務を分担して行うよう定められており、これらに伴う歳入及び歳出となっております。

歳入は保険料、歳出は広域連合への保険料納付金がその大部分を占めております。

認定第4号 平成30年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額1億2, 672万円3千円、歳出総額1億2, 976万9千円で、歳入歳出差引残額5, 695万4千円となりました。

歳入の主なものについては、国庫支出金3億7, 718万1千円、支払基金交付金3億1, 310万5千円、介護保険料1億9, 611万2千円などです。また、歳出は、保険給付費1億3, 972万3千円が全体の89.8%を占めており、そのうち主なものは、施設介護サービス給付費5億4, 601万9千円、居宅介護サービス給付費3億8, 142万2千円、地域密着型介護サービス給付費9, 995万8千円となっております。

認定第5号 平成30年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額9, 591千円、歳出総額9, 100千円で、歳入歳出差引残額491千円となりました。

歳入の主なものについては、国民健康保険団体連合会からの居宅介護サービス計画費が6, 491千円、一般会計繰入金3, 013千円となっています。

歳出につきましては、ケアプラン作成に従事する嘱託職員報酬4, 311万

6千円、肝属郡医師会からの職員出向にかかる負担金328万8千円等が主なものです。

認定第6号 平成30年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額1億2,775万4千円、歳出総額1億1,984万7千円となり、歳入歳出差引額は790万7千円となりました。

歳入の主なものにつきましては、事業収入が9,964万3千円、一般会計繰入金2,156万5千円などです。

歳出につきましては、水道事業の運営に係る維持管理費、職員人件費等の総務費5,662万円、公債費4,269万7千円が主なものとなっています。

認定第7号 平成30年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入総額2,973万円7千円、歳出総額2,885万5千円で、歳入歳出差引額は88万2千円となりました。

歳入の主なものにつきましては、事業収入が840万4千円、一般会計繰入金1,778万4千円などです。

歳出につきましては、農業集落排水事業の運営にかかる維持管理費等の総務費1,283万9千円、公債費1,601万6千円が主なものとなっています。

以上、各会計決算の総括説明をいたしました但、詳細につきましては、決算特別委員会の折、主管課長から説明させていただきます。

認定いただきますようよろしくお願いいたします。

[木場町長、降壇]

水口議長

これから質疑を行ないます。質疑ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

水口議長

質疑なしと認めます。お諮りします。

認定第1号、認定第2号、認定第3号、認定第4号、認定第5号、認定第6号、認定第7号までの7議案については、議長と監査委員の浪瀬君を除く、全議員で構成する「決算審査特別委員会」を設置し、これに付託して、審査することにしたいと思います。ご異議ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

水口議長

異議なしと認めます。

したがって、日程第１２ 認定第１号「平成３０年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定について」

日程第１３ 認定第２号「平成３０年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第１４ 認定第３号「平成３０年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第１５ 認定第４号「平成３０年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第１６ 認定第５号「平成３０年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第１７ 認定第６号「平成３０年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」

日程第１８ 認定第７号「平成３０年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について」までの決算認定に関する７議案については、議長と監査委員の浪瀬君を除く、全議員で構成する「決算審査特別委員会」を設置し、これに付託して、審査することに決定しました。

以上で本日の日程は、全部終了しました。本日は、これで散会します。

次の本会議は、明日１１日の予定でありますので、申し添えておきます。

散 会 １１：１１